おこ助AI × Vertex AI 導入のご案内

2026年11月5日・株式会社トータルプランニングオフィス

台本や音声を外部のAIサービスに渡したくない企業さまに向けて、おこ助AIのAI機能を**貴社自身のGoogle Cloud環境(Vertex AI)経由**で使える接続方式を準備しています。契約・データの管理・請求をすべて貴社の管理下に置いたまま、文字起こしや字幕制作を効率化できます。

※ Vertex AIは現在、Googleにより「Gemini Enterprise Agent Platform」に名称が変更されています。本資料では従来の名称で表記します。

「学習しない」だけでは足りない理由

直接のAPI接続でも、データがAIの学習に使われることはありません。Vertex AIを使うと、それに加えて**データがどこに・どれだけ残るか、誰と契約するか**まで貴社で決められます。

比較項目	直接のAPI接続	Vertex AI
AIの学習への利用	されない(規約で明記)	されない(規約で明記)
データの一時記録	不正利用を監視するため、入力と出力が一定期間記録される	一時保存を止めるなどの設定で、**データを残さない運用が可能**
保存・処理の場所	場所は選べない	**保存先に東京リージョンを指定できる**。処理まで国内に限れるのは一部のGeminiモデルのみ(※)
契約の相手	API利用規約への同意	**貴社とGoogleのクラウド契約**(データ処理に関する取り決めを含む)
社内での管理	APIキーで一括管理	担当者ごとの権限設定、利用記録の確認、予算の管理

※ 保存・処理の場所の条件(Google公式「データ所在地」2026年10月30日更新版による)

- **保存されるデータ**:選んだリージョン(東京など)にとどまります。呼び出し方によって変わることはありません。
- **AIの処理**:場所は呼び出し方とモデルで決まります。リージョンを指定しない共通の接続先(global)で呼び出すと、世界中のどこで処理されるかは保証されません。
- **Gemini**:東京リージョンで呼び出した場合、日本国内での処理が約束されるのは、Googleが対象と定めた一部のモデルだけです。
- **Claude**:日本国内での処理は約束されていません。処理場所が約束される地域は、米国、EU、ベルギー、オランダ、シンガポール、台湾の範囲です(モデルにより異なります)。

データを確実に残さない運用や、企業向けのデータ処理の取り決めが必要な場合は、Vertex AIを使うようGoogle自身が案内しています。

導入の流れ

設定作業は、貴社の情報システム担当者が次の5段階で行います。

1. **Google Cloudのプロジェクトを作成する**(貴社名義のアカウントで作成します)
2. **支払い方法を登録する**(予算の上限に近づいたら通知が届く設定もできます)
3. **Vertex AIを有効にし、東京リージョンを利用する設定にする**
4. **おこ助AI専用の認証情報を発行する**(AIの利用に必要な最小限の権限だけを付与します)
5. **おこ助AIの設定画面に接続情報を登録する**(プロジェクトID、リージョン、認証情報)

費用・提供時期・お問い合わせ

- **費用**:Vertex AIの利用料は、使った分だけを支払う従量課金です。Google Cloudから貴社に直接請求され、おこ助AIのライセンス料とは別になります。
- **提供時期**:Vertex AIに接続できる版のおこ助AIは現在開発中です。提供開始の時期は決まり次第ご案内します。
- **お問い合わせ**:株式会社トータルプランニングオフィス
  TEL/FAX 03-5934-2166 / E-mail tpo@tpo-tokyo.co.jp

出典:Gemini API のゼロデータ保持、Vertex AI のデータ保持、データ所在地、名称変更一覧